

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439, 0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

R1(2019)8.6発行 2019_No.9

酪農生産性向上対策事業による

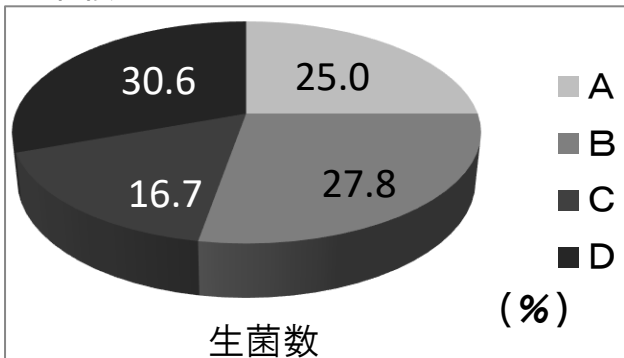
令和元年度 第1回 **バルク乳検査**の集計結果をお知らせします。

- 評価
A : 正常/目標 B : やや多い C : 多い D : 非常に多い

- グラフ
管内検査戸数 (36戸) のうちA~D評価の戸数の割合 (%)

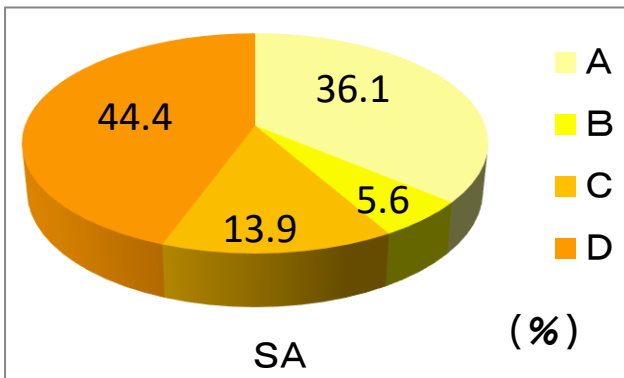


★生菌数



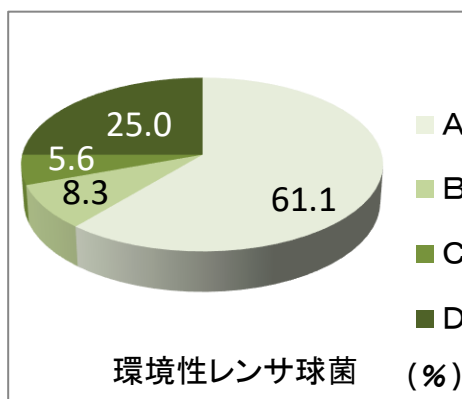
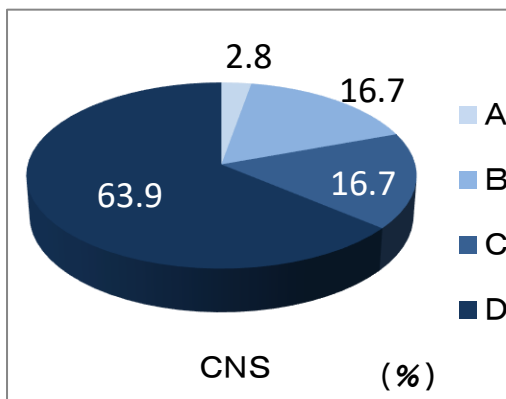
◇ 生菌数は、搾乳衛生全体の評価指標となります。

★黄色ブドウ球菌 (SA)



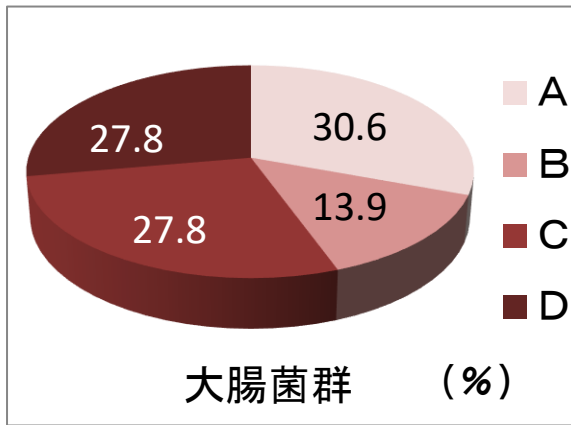
- ◇ 約64%の農場からSAが検出されました (B~D)。
- ◇ **SAは検出されないことが重要です。**
- ◇ SA保菌牛の特定、対応については、ご相談ください。

★環境性ブドウ球菌 (CNS)、環境性レンサ球菌



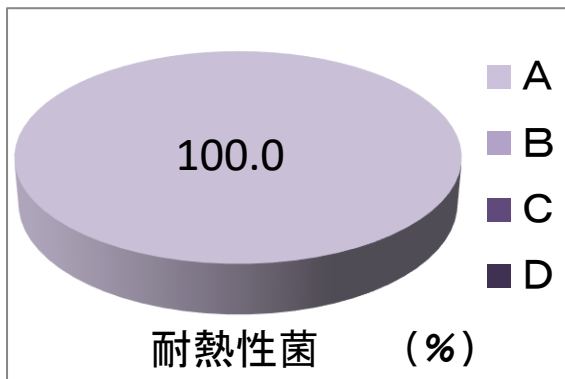
- ◇ これらの菌は、搾乳作業や飼養環境の衛生状態の指標となります。
- ◇ バルク乳の体細胞数が多い場合には、これらの菌による乳房炎牛の存在も疑われます。

★大腸菌群



- ◇ 大腸菌群が多数検出される場合、多くは、汚染された牛体や乳房・乳頭、あるいは敷料から搾乳中に糞便などを吸引した場合や搾乳機器の洗浄殺菌に問題がある事例です。
- ◇ 菌数の多い農場は、搾乳手技や搾乳機器の他、搾乳環境の衛生管理を確認しましょう。

★耐熱性菌



- ◇ 耐熱性菌は、ミルクラインや搾乳機器の洗浄殺菌状態の良し悪しを反映します。
- ◇ 今回検出された農場はありませんでした。

★マイコプラズマ検査及び牛ウイルス性下痢ウイルス検査は、全て陰性でした。

今回 SA が検出された農場が全体の約 **64%** でした。
農場内で広げず、SA に感染していない牛がこの先も良い乳を出せるよう、対策を再確認してみましょう。

- ・ SA 感染牛、感染分房の特定
- ・ 搾乳順序の変更 : 陽性牛は最後に搾ります
- ・ 乾乳期治療 ・ 分娩後の検査
- ・ PL テスターでの確認



★ 過搾乳の防止 (乳頭口を傷つけない)



搾乳衛生・管理等のご相談はお気軽に！
連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課
Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441



しあわせ信州創造プラン 2.0 (長野県総合 5 か年計画)
～学びと自治の力で拓く新時代～